

2010年 受賞部品

健康・医療機器部品賞

超抗菌マスク用銅布フィルター (DMF-51) コデラカプロン (新潟県三条市)



#### 製品概要

新型インフルエンザウイルス、黄色ブドウ球菌、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) などに99.9%の除菌効果がある超抗菌マスク用銅布フィルター。

ポリエステルの糸に直径 $29.5\mu\text{m}$  ( $\mu$  は100万分の1)の銅繊維をより合わせた糸を、タテ糸とヨコ糸に用い二重に織り込み布状のフィルターにした。銅イオンや、繊維が交差することで生じる微量の電流などにより除菌できる。ウイルスや菌のほか、花粉やハウスダストにも効果的だという。 フィルターを不織布のポケットに入れ、マスクの内側に張り使用する。市販されているさまざまなマスクに装着可能。洗って繰り返し使えるため経済的で、約6カ月間使用できる。今回の銅布は新潟県の中小企業3社の異業種連携で開発した。

Voice コデラカプロン社長 古寺 保治氏

健康・医療機器部品賞という素晴らしい賞をいただいたことで、堂々と製品をお客さまに紹介でき、今後の販売活動で大きな励みになります。今回の受賞に関して、取引先などからお祝いの言葉を頂いたのに加え、別の部門で受賞された企業からは祝電までいただき、感謝しています。

この超抗菌マスク用銅布フィルターを、子どもから大人まであらゆる方々に使って頂くことで、病気の予防に貢献していきたいと考えています。また、院内感染を引き起こすメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) も除菌できることから、医療関係にも積極的に提案していきたいと考えています。

健康・医療機器分野

講評：

二重織りした銅布の電位のバリアーで、銅イオン抗菌、接触殺菌、電位殺菌のトリプル効果を形にした「超抗菌マスク用銅布フィルター (DMF-51)」は、町工場的なローテク熟練技能と細菌研究の、そして「3D気道解析ソフトウェア」も、情報技術と生体研究の、優れた融合の成果である。人工物技術と生物技術の融合。それは、新たな日本のモノづくりの光源かも知れない。



ユニバーサルデザイン総合研究所所長 赤池学氏